

関東明教 第20号 目次

母校沿革	4
同窓会関東支部沿革	5
校歌	6
巻頭言	
仰げば尊しわが師の恩	緒方 郁夫(支部長) S 52
温故知新 越えて 温故創新へ	豊島 吉博(同窓会長) S 44
黒部・竹取り・よもだの文化	村上 敏之(校長)
総会・懇親会報告	10
2018年関東支部総会フォトアルバム	12
総会・懇親会報告	日野 恵一 S 53(事務局長)
収支報告	18
会則	20
演奏会要旨「ホルン&ピアノ演奏会」	
今井 仁志 S 60・黒田 映李 H 13	21
平成30年度 総会・懇親会出席者	22
平成30年度 役員名簿／寄付者／物故者	23
平成30年度 会費納入者一覧	24
追悼 宇和川正人君の死を惜しむ	稲田 俊雄 S 22
追悼 村上堅治君 君は、風の又三郎だったのか?	27
追悼 ありがとうグループ長	丹下 誠司 S 53
渡邊 克也 S 55	29
特集「様々な分野で活躍するOB・OGを訪ねて」	
湯澤美都子 S 44／大野湧仁 H 28	30
山岡淳一郎 S 53／山下智大 H 29	32
西原 茂 S 56／松井滯児 H 29	34
影浦誠樹 S 60／青野純也 H 30	36

学年報告

S 21／松中東京扶桑会(昭21・22卒の会)	宇和川正人	38
S 25／米寿祝賀会に集まった翁達	倉本 肇	38
S 26／関東ばったの会若き我あり	永木 雅夫	39
S 27／「東京ふたな会」	山脇希一郎	39
S 29／昭和29年卒関東同期会報告	宮内 英津	40
S 31／4月1日、花満開の上野の森に参集!!	大西 千恵	40
S 32／傘寿を迎えて 32会開催	境 八洲子	41
S 33／美しい富士と河口湖温泉の旅	中山 登	41
S 39／関東39会報告	清水 賢治	42
S 39／関東39会報告(19号分)	清水 賢治	42
S 40／2018年同期会開催報告	濱田 敏公	43
S 41／関東41会年度報告	河村 浩	43
S 43／同期会報告	岡 由紀	44
S 44／昭和44年卒関東同期会報告	下村 修	44
S 45／あの素晴らしい愛をもう一度	内田 雄記	45
S 46／同期会報告	門脇 由忠	45
S 50／50年卒皆でがんばっていきましょい!	西原 申介	46
S 51／人生は旅	村上 修	46
S 52／平成最後(耳タコ?)の新年会@築地	武智 順	47
S 53／東東(とんとん) 53会、還暦前年に銀座で集う	山本 英生	47
S 55／プチ同窓会	村山 卓志	48
S 56／同期会報告	乗松 哲也	48
S 57／まだまだいきましょう!!	武井 多美	49
S 58／これまでとこれからの今こそ	押山(三浦)千秋	49
S 59／卒業から12、670日目の同期会@新宿	柴田 巖	50
S 60／宇和上正先生の「若山牧水賞」受賞を祝う	原田 信彦	50

H2 / 東高同窓生は永遠の仲間★同窓会活動報告★

高橋 潤二	51	
H3 / そういやあったね、エプロン!	忽那 治郎	51
H6 / 25周年同期会! 94年会@松山	阿部 良一	52
H16 / 有志による不定期な飲み会	村上 裕樹	52
学年掲示板	山脇希一郎	53
S27 / 「松中ラスト会」	上田 吉徳	53
S48 / S48卒の皆さん、お元気ですか! 以下、近況です	池田 奈智	54
H9 / 集まっています!	手塚 佳彦	54
H11 / 引き続き最近も集まっていませんが...	林 尚典	54
H22 / 今年こそは!	岡田 祐希	55
夏目漱石特別教授(漱石アンドロイド)記念授業を終えて	日野 恵一	59
夏目漱石と甲子園が繋いだ縁		
小ホール講演会「農業政策の課題と展開方向」		
部活めぐり		
男子バレーボール部の思い出		
参河 厚史・寺村 高司・横田 郁	H 6	60

投稿

吹毛剣	渡辺 幸子	S 32	62
音楽、そして旅	鎌田 直純	S 46	64
走りましょい会について語るときに私の語ること	芳野 郁子	S 53	66
私の人生の目標『エイジシュート (Age-Shooting)』	安井 孝二	S 56	68
いのちまた燃えたりー作家・洲之内徹の足跡を追ってー	杉本 俊造	S 58	70
人生いろいろ、会社もいろいろ	大野 仁	S 61	72
バンクーバーのコーヒー屋さん	井上えつこ	S 61	74

関東支部活動報告

「学生と社会人の交流会」報告

傘寿会

女子会「マドンナの会」

母校だより

東高での進路指導講演会のご報告

同窓会入会式

本部・支部だより

関東OB会報告

野球部篇

ラグビー部篇

ブックス

ニュース&トピックス

名刺広告

企業広告

事務局だより

編集後記

総会のお知らせ

■題 字 柴田 祐昭 S 31

なお、本文中の時刻の表示、筆者ならびに登場人物の赴任地や肩書や役職などは、すべて事象が起きたときあるいは執筆時のものになっています。筆者のそのときの気持ちや尊重しているものから、発刊時とは違っていることがあります。したがって編集部として「今年」を「去年」に手直したり、「元」や「当時」などの表記も付記したりはいたしません。ご了承ください。



表紙 香川元太郎 (S53)

タイトル: 江戸中期の松山城本壇

松山城の本壇は、たとえ本丸に敵が侵入しても天守の一画だけで籠城できる構えで、城郭用語では「天守曲輪」と呼ばれるものです。今も現存天守や、再現建物によって、ほぼこれと同じ姿を見ることが出来ますが、江戸中期までは中庭に貯水池があり、籠城に備えていたと推定されます。全国の城でも珍しい堅固な構造と言えるでしょう。